



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト

清水港 富士見地区 岸壁の改良(老朽化対策)

(2015~)



飼料・食料用穀物や製紙原料用木材チップ、セメント等のばら積み貨物（バルク貨物）の受入拠点である清水港富士見地区は、岸壁の老朽化が進んでいることから、バルク貨物の安全かつ安定的な受入機能を確保するため、2015年（平成27年）に、岸壁改良工事に着手しました。

穀物運搬船をはじめとする多くの船舶が利用する中での施工となるなど、難易度の高い条件の中、工事を進めています。

- 主 要 施 設／富士見5号岸壁（水深12m、延長290m）
- 主な改良内容／既設栈橋を撤去し、矢板式岸壁に改良
- 事 業 期 間／2015年（平成27年）～ （2020年代完成予定）

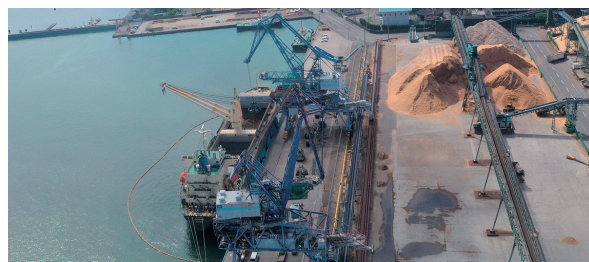


清水港 富士見地区（2021年2月）

富士見岸壁の利用状況



穀物（トウモロコシ）の荷揚げ（2021年5月）



木材チップの荷揚げ（2021年5月）



富士見岸壁の改良状況



大型起重機船による既設岸壁上部の撤去作業（2021年1月）